

岡大医歯薬総第70号
令和3年10月21日

各大学医学部長 殿
各医科大学長 殿
各医学研究機関の長 殿

岡山大学学術研究院医歯薬学域長

伊 達 勲
(公印省略)

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科生体制御科学専攻
生体機能制御学講座(人体構成学分野)担当教授候補者
の公募について(依頼)

本研究科では、生体機能制御学講座(人体構成学分野)担当教授の公募を行うこととなりました。

本学は研究大学を目指しており、今回募集する教授には、研究面では、優れた「見る」技術を含む生命科学の分野で先端的かつ国際的に卓越した学内外での研究を推進でき、大学院での精力的な研究指導を行える方を求めています。教育面では、人体系統解剖学実習、臨床応用解剖を含めた学部・大学院の解剖学講義実習を担当していただきます。なお、篤志献体団体(ともしび会)の責任ある運営も担っていただきます。

関連分野としては、生体機能制御学講座 細胞組織学分野(大内淑代教授)及び脳神経制御学講座 脳神経機構学分野(淺沼幹人教授)があります。

つきましては、貴学・貴学部・貴研究機関及び関係機関で適任者がいらっしゃいましたら、令和3年12月1日(水)17時(必着)までに別紙に示す必要書類を添えて御推薦くださるようお願いいたします。

なお、提出書類のうち、履歴書、研究業績書、科学研究費補助金・助成金等の交付状況は、原稿ファイル(Word:写真不要)を電子媒体(CD-R, USBメモリ等)に保存のうえ、併せて提出してください。

申請関係書類は、本学大学院医歯薬学総合研究科のホームページの他、UMINとJREC-INのホームページにも公開しています。

岡山大学では男女共同参画を推進し、女性教員をサポートしています。女性の積極的な応募を歓迎します。

教授候補者応募に必要な書類

1 提出書類

- ① 推薦書 (様式任意)
 - ② 履歴書 1部
 - * 別添の記入例を参考にして、印字で作成してください。
 - ③ 教育及びその他活動実績一覧 1部
 - * 該当する項目のある場合は、別添の記入例を参考に記入してください。
 - ④ 教育概要を記載した書類 1部
 - * 教育に関して2,000字程度の概要(実績並びに人材育成に関する抱負などについて具体的に述べたもの)を提出してください。
 - ⑤ 研究業績書 1部
 - * 別添の記入例を参考にして、印字で作成してください。
 - * 投稿中の論文で掲載証明のないものは、除いてください。
 - * 学術論文、著書、その他(国内の特別講演及びシンポジウム等並びに国際学会講演)に区分し、それぞれ発表年順(最近のものから)に記入してください(区分ごとに一連番号を付し、主要論文20編については赤○印を付すとともに、corresponding authorである場合には、一連番号の右側に赤*を付してください。)。また、国際共著論文(異なる国を拠点とする複数の研究者による共著論文)の場合には、一連番号にアンダーラインをひいてください。h-index(Web of Scienceを使用のこと。アクセスできない場合は、使用した他のデータベース名を明記してください。)を欧文論文の先頭に朱書きしてください。
 - ⑥ 主要論文(原著及び総説)20編の別刷各1部とそのリスト1部
 - * 前記の区分及び番号に対比させ、「論文-5」等を付してください。
 - * 主要論文20編については、被引用数(Web of Scienceを使用のこと。アクセスできない場合は、使用した他のデータベース名を明記してください。)を付したリストを作成し、それぞれのように関与したかを記載し提出してください。
 - ⑦ 研究概要を記載した書類 1部
 - * 研究に関して2,000字程度の概要(実績の概要と今後の抱負などについて具体的に述べたもの)を提出してください。
 - ⑧ 科学研究費補助金・助成金等の交付状況 1部
 - * 所属研究機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費(奨学寄付金は除く。)を含みます。別添の記入例を参考にしてください。
 - ⑨ 特許の申請・取得状況 1部
 - * 該当する項目のある場合は、別添の記入例を参考に記入してください。
 - ⑩ 学位論文の課題名、授与年月日及び授与大学名を記載した書類 1部
 - ⑪ 学位指導論文目録 1部
- 注) ②～⑤、⑦～⑪については、A4版用紙縦に横書きで作成してください。

2 書類提出先

〒700-8558 岡山市北区鹿田町二丁目5番1号
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等総務課総務担当総括主査気付
岡山大学学術研究院医歯薬学域長

伊 達 勲

注) 提出は書留で郵送するものとし、表書に「生体機能制御学講座(人体構成学分野)教授応募書類 在中」と朱書きで併記願います。

なお、連絡先住所、電話番号、メールアドレス等をお知らせ願います。

3 その他

提出書類のうち、②履歴書、⑤研究業績書、⑧科学研究費補助金・助成金等の交付状況は、原稿ファイル(Word:写真・押印不要)を電子媒体(CD-R, USBメモリ等)に保存のうえ、併せて提出してください。

応募書類は、採用審査及び採用手続きの目的のみに使用し、他の目的には一切使用いたしません。また、選考終了後は、採用手続きに必要なものを除き、速やかに返却します。

(記入例)

履 歴 書

氏名 (ふりがな) : おか やま はな こ
 氏名 (英字表記) : Hanako Okayama
 性別 : 女
 国籍 : ○○国
 生年月日 (年齢) : 昭和○○年○○月○○日 (○○歳)
 現住所 : ○○県○○市○○町○-○-○
 勤務先 : 〒○○○-○○○○ ○○県○○市○○町○-○-○
 ○○大学○○学部○○分野 (電話番号) ○○○-○○○-○○○○
 (メールアドレス) ○○@○○

カラー写真

縦4cm×横3cm
(本人胸上半身)

注) 通常お使いの表記をお願いします。

学 歴

平成 4年 3月 ○○高等学校卒業
 平成 4年 4月 ○○大学○学部入学
 平成10年 3月 ○○大学○学部卒業
 平成10年 4月 ○○大学大学院○学研究科 (○○学専攻) 入学
 平成14年 3月 ○○大学大学院○学研究科 (○○学専攻) 修了

注) 高等学校卒業から歴年順に記入してください。

資 格・免 許

平成10年 4月 日 医師免許取得 (第○○○○○○○号)
 平成14年 3月 日 博士 (○学) (○○大学)
 平成16年 9月 日 ○○学会認定 (専門医) (第○○○号)

職 歴

平成14年 4月 ○○大学医学部研究生 (○○講座・分野) 研
 平成15年 4月 ○○大学医学部助手 (○○講座・分野) 教・研
 平成23年 4月 ○○大学医学部講師 (○○講座・分野) 教・研
 平成27年 3月 // 退職
 平成27年 4月 ○○大学医学部准教授 (○○講座・分野) 教・研 現在に至る。

注) 1. 職歴に空白期間がある場合は必ず明記し、その説明を付記してください。
 2. 必要教育歴又は研究歴は10年ですので、教育歴の場合は「教」、研究歴の場合は「研」と付記してください。

海 外 渡 航 歴

平12. 9. 1~平14. 8. 21 ○○国○○大学○○研究室 (客員研究員) ~研修渡航
 平16. 5. 15~平17. 3. 14 文部科学省在外研究員として○○国○○大学○○研究室
 (客員助教授) ~出張

注) 2か月以上のもので、必ず受入れ先の国名、機関名、身分 (職名) を明記してください。

学 会 其 他 における 活動 等

○○学会, ○○学会, ○○学会, ○○学会, ○○学会, ○○学会, ○○学会, ○○学会
 平16. 4~平20. 3 ○○学会評議員
 平16. 4~現在 ○○学会評議員
 平16. 4~現在 ○○学会理事
 平19. 4~平24. 3 ○○省○○審議会委員
 平22. 4~平27. 3 ○○県○○審議会委員

注) 所属する学会名を記入し、役員については、その期間を付記してください。

賞 罰

賞 罰: 平成14年4月 ○○賞受賞
 罰なし

注) 「賞」「罰 (刑事罰・懲戒処分)」とも有無を明記ください。ある場合は具体的内容を、無い場合は「罰なし」等と記載してください。

上記のとおり相違ありません。

今回提出する履歴書の記載内容について相違ないことを申し立てます。なお、万一、経歴詐称があった場合は懲戒解雇になることがあるほか、採用後記載内容に誤りがあることが判明した場合は採用日に遡及して給与を返納することがあることについて異存ありません。

令和 年 月 日

氏名 (自筆)

(教育及びその他活動実績一覧の記入例)

教育及びその他活動実績一覧

1. 教育活動実績の一覧 (記入例)

項 目	期 間 等	備 考
1) 授業担当等		
① ○○大学医学部 「系統解剖学実習」(○時間/年, ○人)	○○年○○月～現在	
② ○○大学○○学部 「○○○○学」(講義○時間, 実習○時間/年)	○○年○○月～現在	
③ ○○大学大学院医学研究科 「○○学演習」 ○単位 「○○○○学」 ○単位	○○年○○月～現在 ○○年○○月～現在	
2) 他大学・他学部等の非常勤講師		
①○○大学 ○○学部 「○○○○学」年間○時間の集中講義	○○年○○月～現在	
3) 他大学の特別講義		
①○○大学○○学部○○講座 特別講義「○○について」	○○年○○月	
4) 臨床応用解剖		
○○大学	○○年○○月～○○年○○月	
5) 委員等		
○○大学奨学生等選考委員会委員	○○年○○月～○○年○○月	
○○大学○○学部カリキュラム委員会委員	○○年○○月～○○年○○月	
○○大学○○学部アカデミックアドバイザー等	○○年○○月～○○年○○月	
6) 初期研修・後期研修		
研修指導講習会受講の有無	○○年	
7) 国際交流/学生・研修医支援		
○○国留学生○○研修受入れ(○人)	○○年○○月～○○年○○月	
研修医指導責任者	○○年○○月～○○年○○月	
8) 学生の課外活動指導		
○○大学学友会 ○○部顧問	○○年○○月～現在	

注1) 教育実績には、これまで担当した講義・実習・演習・セミナー・特に系統解剖教育・臨床応用解剖等のほか、カリキュラム策定委員・入試対策委員等の実績を、記入例に基づき記入して下さい。

注2) 項目ごとの記載数が多い場合は、内容が分かる簡単な説明を加えて、項目ごとに○外○件というようにまとめて記載して下さい。

注3) 備考欄には大学及び大学院等での講義・実習等において、学生による教員個人に対する評価の概略等関連事項があれば記入して下さい。

2. その他活動実績 (付記すべきものがあれば記載してください。)

研究業績書

令和 年 月 日
氏名 (自筆)

(学術論文) (欧文, 和文に区別してください。)

注) 原著論文, 総説, 症例報告及びその他に分けて, 番号 (一連番号), 著者名 (印刷順に全員連記し, 本人のところにアンダーラインをひく。), 題目, 発表誌, 発行年 (西暦); 巻: 初頁-終頁, を年代順 (最近のものから) に次の例を参考にして記入してください。なお, 欧文論文掲載誌に Impact Factor (IF, Clarivate Analytics 社, 2020年版) が付されている場合, 併せて記入してください。主要論文 20 編については赤○印を付すとともに, corresponding author である場合には, 一連番号の右側に赤*を付してください。また, 国際共著論文 (異なる国を拠点とする複数の研究者による共著論文) の場合には, 一連番号にアンダーラインをひいてください。h-index を欧文論文の先頭に朱書きしてください。

h-index:19 (Web of Science)

欧文記載例:

- ①*Shikata E, Tushima K, Yamamoto M, Suzuki A, Okayama H. Evidence for the multistep nature of in vitro human epithelial cell carcinogenesis. Cancer Res. 2017; 50:5653-5657. IF: 9.122
- ② Okayama H, Fujita J, Aaronson SA. Neoplastic conversion of human epidermal keratinocytes by adenovirus 12-SV40 virus and chemical carcinogens. Science. 2016; 232:385-388. IF: 37.205

和文記載例:

- 1 ○○○○, 岡山花子, ○○○○. ○○に関する研究. ○○学会雑誌, 1998; 3:189-211.

(著書) (欧文, 和文に区別してください。)

注) 番号 (一連番号), 著者名 (印刷順に全員連記し, 本人のところにアンダーラインをひく。), 題目 (共著又は分担の場合は, その区分を括弧がきで付記する。), 頁数, 発行所, 発行年 (西暦) を, 年代順 (最近のものから) に次の例を参考にして記入してください。

欧文記載例:

- 1 Okayama H. Drugs and foods from little-known plants. Harvard Univ. Press, Cambridge, MA, 2011
- 2 Okayama H, Shikata E, Tushima K. Views of cancer researchers on environmental mutagens. In "Environmental Mutagens and Carcinogens", ed. Sugimura T, Kondo S, Takebe H., pp. 3-20, University of Tokyo Press, Tokyo, 2008

和文記載例:

- 1 岡山花子: ○○に関する研究, ○○書房, 東京, 2011
- 2 ○○○○, ○○○○, 岡山花子: ○○○○○○に関する研究 (分担), 「生体時計」, ○○○○, ○○○○編, PP.15-25, ○○出版, 東京, 2009

(その他)

注) 国内及び国際学会の特別講演及びシンポジウム等 (一般演題は除く。) について, 番号 (一連番号), 発表者 (本人のところにアンダーラインをひく。), 題目, 学会, 開催地, 発表年 (西暦) を, 年代順 (最近のものから) に次の例を参考にして記入してください。

【国内学会】

- 1 岡山花子: 特別講演, 癌遺伝子, 第○回日本癌学会シンポジウム, 東京, ○○年
- 2

【国際学会】

- 1 Okayama H, Special lecture, Analysis of methylation in the c-myc gene, Symposium at the International Meeting of Cancer Prevention, Bangkok, Thai, 2012
- 2

(記入例)

科学研究費補助金・助成金等の交付状況

氏名(自筆)

補助金・助成金等(奨学寄付金は除く。)

- ・役割(代表・分担の別)の別に分類して、開始年度の順に記載すること。
- ・記載内容:研究期間(年度)、資金制度・研究費名(配分機関等名)、研究課題名(分担の場合は、研究代表者氏名・所属)、研究費(期間)の受領額(千円)

<例:代表>

1. H26~H28, 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究A(一般), ○○に関する○○的研究, 48,000千円
2. H29~R1, 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究C(一般), ○○に関する研究, 3,000千円

<例:分担>個人配分有り

1. H25~H27, ○○○医学振興助成金(○○財団), ○○に関する○○研究(代表:瀬戸次郎・○○大学), 分担研究者(人数, 役割分担:○○に関する解析), 研究費総額5,000千円, 分担額2,000千円

<例:分担>個人配分無し

1. H23~H25, ○○○医学振興助成金(○○財団), ○○に関する○○研究(代表:山陽花子・○○大学), 分担研究者(人数, 役割分担:○○に関する解析), 研究費総額5,000千円

注) 不足の場合はページを追加してください。

(記入例)

特許の申請・取得状況

<記入例>

1. 登録番号：特許第○○○○○○○○号
公開番号：特開 ○○○○-○○○○○
出願番号：特願 ○○○○-○○○○○
発明の名称：△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△
発明者：□□□□, ◆◆◆◆, ◎◎◎◎, ★★☆☆
出願人：◇◇◇◇
2. 公開番号：特開 ○○○○-○○○○○
出願番号：特願 ○○○○-○○○○○
発明の名称：△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△
発明者：□□□□, ◆◆◆◆, ◎◎◎◎, ★★☆☆
出願人：◇◇◇◇

労働条件等について

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
生体機能制御学講座 人体構成学分野
教授候補者の公募

業務内容	教育及び研究
契約期間	期間の定めなし
試用期間	試用期間あり（3か月）
就業場所	大学院医歯薬学総合研究科 （岡山県岡山市北区鹿田町2-5-1）
就業時間	8:30～17:30
休憩時間	12:00～12:50, 13:50～14:00, 15:00～15:10, 16:10～16:15
休日	毎週土・日曜日, 国民の祝日, 12月29日～翌年の1月3日
時間外労働	原則としてなし 専門業務型裁量労働制により, 7時間45分働いたものとみなされます。
賃金	給与の額等は, 国立大学法人岡山大学年俸制適用職員給与規則の定めるところにより, 本人の学歴, 免許・資格, 職務経験等を勘案して決定されます。
加入保険	雇用保険, 労災保険 国家公務員共済組合の年金・健康保険
募集者の氏名又は名称	国立大学法人岡山大学